

うえだ 環境市民会議 News

第35号
ニュース

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのプロジェクトチームにも参加できます。参加ご希望の方は、生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

この情報誌は自治センター、公民館、図書館、情報ライブラリー、市生活環境課の窓口で配布しております。

発行：うえだ環境市民会議

〒386-8601 上田市大手一丁目11-16

上田市生活環境課内

電話：0268-23-5120

FAX：0268-22-4127

E-mail seikan@city.ueda.nagano.jp

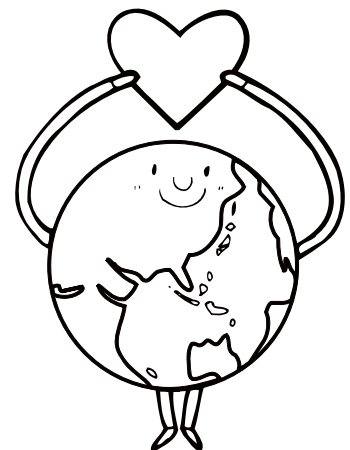
環境活動発表&総会開催のお知らせ

うえだ環境市民会議ではプロジェクト・チームの環境活動を広く市民のみなさんに知って頂きたいと、毎年発表会を一般公開していますが、今回はプロジェクト・チームの発表に加えて、昨年12月に丸子文化会館で鎌仲ひとみ監督作品『ミツバチの羽音と地球の回転』を上映されたミツバチ委員会&六ヶ所会議 in うえだ代表の藤川まゆみさんのお話や、下水汚泥から発生したバイオ天然ガスを自動車と焼却炉の燃料に利用している上田市上下水道局の取り組みについてお話をお聴きします。この機会にぜひご参加ください。

日時： 平成23年 **5月28日** (土) 午後1時30分から

会場： 上田駅前ビル パレオ2階会議室 入場無料

- 内容：
- ①環境活動発表
 - ②環境博士認定証授与
 - ③うえだ環境市民会議総会



◆ お問い合わせ ◆

うえだ環境市民会議事務局 / 上田市役所生活環境課 電話 23-5120

2月25日にNPO環境エネルギー政策研究所所長 飯田哲也氏を講師に『自然エネルギーの動向と地域での取り組み』と題して環境講演会開催したところ、会場が満席になるほどたくさんの方々にご参加頂きました。ありがとうございました。講演会の感想をお寄せ頂きましたのでご紹介します。

『自然エネルギーの動向と地域での取り組み』を聴講して

竹花伍男

講演会の内容を簡単にお知らせいたします。第一は、人類が狩猟生活から農耕生活に移行する革命。第二は、イギリスにおける蒸気機関産業革命。第三は、現在進行中の情報通信産業革命。人間の脳や紙媒体での記憶がパソコンに置き換えられ、誰もが検索で情報を引き出せる時代。第四は、自然エネルギー活用革命。

2010～11年の異常気象、化石燃料の生産量と残存量は2015年をピークに減少する。そして、日本における化石燃料の輸入金額は2008年で、すでに23兆円。原子力エネルギーを冷静に検証すると原発のあらゆる問題を無視しており、諸外国における原発の耐用年数は25年とされているが、日本の原発は既に40年を迎えようとしている。原子力発電は、世界的に「伸び」ではなく「純減」の時代である。

講師は京大工学部原子核工学科、東大大学院先端科学技術研究センター博士課程単位取得されており、原子核、放射線、核爆発、原発廃棄物、そして、世界を震撼させたチェルノブイリ原発の大爆発事故（広島原爆の500倍）等の危険性に精通され、今回のような原発事故を早くから予感されておられたのではないのでしょうか。私たちも、事故に遭遇し初めて、素人でもわかる

原発の単純な危険構造設計（原子炉は水が無くなれば爆発する、そして、核の汚染物質の拡散）による危険性や恐ろしさを知ることになりました。ゆえに、より安全な自然エネルギーの重要性を推し進められている、と思われます。

世界では、倍々で伸びる分散型自然エネルギー、風力、太陽光が顕著であり、天然ガスへのシフトも著しい、とのこと。欧州における風力発電は陸上風力発電から洋上風力発電に移行中で、発電した電力は高圧直流送電線方式が計画されている。太陽光発電、太陽熱発電は、広大なアフリカの砂漠に建設設置し、欧州に送電するよう計画されている。

そして、講師が主唱する、NPO環境エネルギー政策研究所の社会的な使命は、こうした持続可能なエネルギー社会に向けた変革の動きを、今以上に加速するよう促すことであり、そのために、たんなる机上の研究に留まらず、現実的な政策を創発して、その実現を図るとともに、新しい社会の方向に志を持った社会的起業や社会的金融を拡げ、開かれた「社会変革プラットフォーム」として、今後とも活動してゆく、と結ばれました。

私は、どこでも吹く風（3～6m/s）で稼働する画期的な風車「垂直軸型翼車装置」を発明し100W発電の実証試験を済ませました。現在は500W～1kWの発電装置を制作中です。100Wの風力発電装置を短期間ですが、無料で貸し出しますので、ご利用ください。

最後になりましたが、自然エネルギーに関心を持つ多くの方が聴講されたことに感激しました。